

-----<始動操作>-----

1. 循環水の交換
水冷ユニット背面のネジを緩めてピーカーを取り外し、循環水を交換する。
チューブが水に浸かるようにピーカーを取り付ける。
水冷ユニットの電源を ON にする。
2. 本体・PC の立ち上げ
温度制御ユニット (温度の制御をしない場合でも)、本体、PC の電源を ON にする。
PC ユーザー名：JASCO パスワード：なし
3. ソフトウェアの立ち上げ
「スペクトルマネージャー」をダブルクリック

-----<測定操作（スペクトル測定）>-----

1. メソッドの選択
[装置]→[スペクトル測定]をダブルクリック
スペクトル測定のウィンドウが表示される。
2. 条件設定
[パラメーター]をクリックし、条件を入力する。
通常は 励起バンド幅：5nm 蛍光バンド幅：5nm レスポンス：Medium 感度：Medium
温度制御をする場合は[制御]タブから条件を入力
3. 測定
ソフトウェア上の[試料測定]or 本体の[START]→測定が終了すると自動的に解析ソフトが起動
4. 解析
必要に応じてピークの検出等のデータ処理を行う
データの保存先は「Cドライブ」→「FP8550」内にフォルダを作成し、その中に保存して下さい。

-----<終了操作>-----

1. ソフトの終了
解析ソフトウェア、スペクトル測定ウィンドウ、スペクトルマネージャーの順に終了する。
2. 装置のシャットダウン
PC、本体、温度制御ユニット、水冷ユニットの電源を OFF にする。
本体冷却ファンの上に物を置かないこと。
3. 使用簿記載
使用時間は 1時間単位 で記入（小数点以下切り上げ）すること。